

令和7年度 第1回酒田市文化芸術推進審議会

◆日時：令和7年6月27日（金）午後2時10分

◆会場：市役所3階 第二委員会室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 諒 問

4 審議会会長あいさつ

5 協議

(1) 酒田市文化芸術推進計画に基づく令和6年度実施事業の評価

(2) 令和8年度実施事業について

(3) 審議会の進め方について

6 その他

7 閉 会

酒田市文化芸術推進審議会委員名簿

令和7年6月1日現在（敬称略）

氏名	役職	推薦団体等	適用（酒田市文化芸術基本条例第20条第3項）
中川 幾郎	会長	帝塚山大学名誉教授	1号委員（学識経験者）
熊倉 純子		東京藝術大学大学院教授	1号委員（学識経験者）
市原 多朗		声楽家 酒田市名誉市民	1号委員（学識経験者）
村上 幸太郎	副会長	酒田市芸術文化協会会长 公益財団法人さかた文化財団理事長	2号委員（文化芸術団体を代表する者）
田中 章夫		公益財団法人本間美術館館長	2号委員（文化芸術団体を代表する者）
小野寺 裕美		酒田市小学校長会 酒田市立松山小学校校長	3号委員（学校教育関係者）
長澤 信樹		酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会会長 学校法人明照学園理事長・浄徳幼稚園園長	3号委員（学校教育関係者）
加藤 聰		酒田商工会議所会頭 加藤総業（株）代表取締役社長	4号委員（事業者を代表する者）
齋藤 健太郎		酒田市文化芸術プロジェクト会議委員 (株)ブルー代表取締役社長	5号委員（市内に住所を有する者）
武田 和恵		一般社団法人こねる代表理事	6号委員（その他市長が必要と認める者）

【事務局】

酒田市企画部	部長	加藤 義和
酒田市企画部文化政策課	課長	大井 庄栄
	課長補佐	小松 千佳
	課長補佐兼文化財係長	池田 邦臣
	文化芸術係長	東海林 聰
	管理係長	笹原 慶
	調整主任	金 嬪娜

資料1

R6文化芸術施策の概要

No.	事務事業名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	担当課	
		環境活動のを行なう整備	親文化環境に整備する芸術活動における充実	文化学校芸術教育における充実	担い手の育成	支える人材の育成	市民との連携	地域連携による	国際化交渉による	仕掛け性の高い配置	専門性の高い配置	社会文化包芸術による	生涯学習による	多様な分野との連携	地域資源の活用	多様な分野との連携	の景観創出の保全と魅力	文化施設の活用	継承と発信の文化	観光との連携	産業との連携	組織体制の強化	・市民報戦点略の情報発信
1	市民芸術祭開催	●		●	●																		文化政策課
2	本間美術館活動補助金	●														●			●				文化政策課
3	土門拳管理運営事業	●	●															●					文化政策課
4	土門拳文化賞顕彰事業		●		●										●								文化政策課
5	【R5】土門拳伝記マンガ製作活用事業		●	●											●								文化政策課
6	美術館管理運営事業	●	●															●					文化政策課
7	庄内文化賞顕彰事業		●		●										●								文化政策課
8	各団体への補助等		●		●																		文化政策課
9	スクールプログラム実施事業		●	●								●											文化政策課
10	【R5】市民アートコーディネート調査研究業務		●			●				●													文化政策課
11	芸術家・地域ふれあい事業		●	●							●												文化政策課
12	人材育成事業				●	●	●																文化政策課
13	いいいろいろ展		●								●		●										文化政策課
14	【R6新規】東京藝術大学との連携事業				●	●						●											文化政策課
15	鑑賞事業		●															●		●			文化政策課
16	【R6新規】アートプロジェクト活動支援補助金						●					●											文化政策課
17	文化資料館管理運営事業	●	●														●						文化政策課
18	史跡旧鎧屋修復事業	●	●													●							文化政策課
19	【R5】史跡旧鎧屋環境整備事業	●	●												●								文化政策課
20	文化財管理事業	●	●													●							文化政策課
21	文化財保存活動支援、国指定文化財管理補助		●			●										●							文化政策課
22	【R5廃止】光丘文庫管理事業	●	●													●							文化政策課
23	山居倉庫整備基本計画策定事業	●														●							文化政策課
24	山居倉庫整備事業	●														●	●						文化政策課
25	山居倉庫施設管理事業	●														●	●						文化政策課
26	生涯学習施設管理運営事業	●	●												●								社会教育課
27	幼児すてっぷ、親子でくすぐり講座		●		●										●								社会教育課
28	酒田文化伝承シリーズ講座		●		●										●								社会教育課
29	酒田愛ごはん														●			●					社会教育課
30	マリンジュニア合唱団の運営		●		●										●								社会教育課
31	地域人材交流講座			●	●		●																社会教育課
32	ミライニ管理運営事業		●												●			●					社会教育課
33	【R7新規】文化施設長寿命化事業	●	●														●						文化政策課
34	【R7新規】飛島ウミネコ繁殖地再生事業															●			●				文化政策課
小計		10	21	3	9	3	6	0	0	1	3	4	4	11	2	3	1	2	1	0	0		
参考1	【R5】山居倉庫公有化事業														●	●	●						都市デザイン課
参考2	景観形成重点地域の景観づくり						●								●	●							都市デザイン課
参考3	客船受入事業									●								●	●				交流観光課
参考4	各団体への負担金(北前船)													●	●			●					交流観光課
参考5	観光戦略推進事業							●	●					●			●	●					交流観光課
参考6	各団体負担金等(交流観光)								●								●	●					交流観光課
参考7	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業														●			●	●				交流観光課
参考8	国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金									●					●				●				共生社会課
参考9	武蔵野市交流市町村協議会負担金													●				●					交流観光課
参考10	客船誘致事業									●								●	●				商工港湾課
参考11	市民交流推進事業									●					●								共生社会課
参考12	八幡地域振興事業		●							●						●							八幡総合支所
参考13	松山地域振興事業		●							●						●							平田総合支所
参考14	平田地域振興事業		●							●						●							松山総合支所
参考15	【R6廃止】演劇ワークショップ				●	●								●									学校教育課
参考16	吹奏楽合同演奏会、中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘ほか				●	●														●	●		学校教育課
【参考】小計		0	3	2	2	0	2	4	6	0	1	0	5	6	1	0	1	8	4	0	0		
令和6年度 合計		10																					

酒田市文化芸術推進計画 評価指標の現状

① 無作為抽出郵送アンケート (H29年度2,000件、H30年度以降1,000件)

③ 紙アンケート

② WEBアンケート

R3・4年度=①②:1,000部郵送の上でWEB回答可。
 R5年度=②:WEBアンケートのみ実施。
 R6年度=②③高齢者配慮の側面から紙面回答での回収も追加。

基本目標	評価指標 (計画P32)	実績							目標値 R9年度
		H29年度 (計画策定期)	R元年度 (計画策定期)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
1 市民文化政策 (ひとづくり) 自由で多様性を認め る心豊かな市民生活 の実現	(1) 文化芸術活動※ ¹ のしやすいまちだと 答える市民の割合 【計画P13 課題(1) 関連】	50.3%	50.9%	35.0%	36.7%	34.0%	37.3%	32.7%	60.0%
	(2) 文化芸術活動に参加した市民の割合 【計画P13 課題(1) 関連】	27.7%	29.3%	16.2%	26.9%	26.9%	41.2%	31.1%	33.0%
	(3) 文化芸術活動の満足度 【計画P16 課題(1) 関連】	42.1%	36.2%	25.2%	28.8%	21.8%	28.2%	31.1%	50.0%
	(4) 文化芸術活動を鑑賞した市民の割合 【計画P13 課題(2) 関連】	36.4%	43.8%	28.8%	30.8%	41.0%	60.7%	64.0%	43.0%
	(5) 子どもたちの文化芸術にふれる機会に 対する満足度 【計画P17・19 課題(3)(6)関連】	31.2%	29.3%	20.7%	20.2%	18.2%	30.1%	36.4%	37.0%
2 都市文化政策 (まちづくり) 誇りをもてる 酒田らしさの創造	(6) 文化資源※ ² について誇りをもつてい る市民の割合 【計画P19 課題(4) 関連】	66.3%	58.4%	53.1%	53.7%	48.1%	93.9%	95.8%	79.0%
	(7) 多様な分野との連携事業数 【計画P19 課題(5) 関連】	教育関係1 観光関係1 商工関係1	福祉関係2 観光関係1	福祉関係1 教育関係1 観光関係1	福祉関係1 教育関係3 観光関係1	福祉関係1 観光関係2 教育関係1	福祉関係1 教育関係2	福祉関係1 教育関係5 商工関係1	多分野との連携 10事業
	(8) 文化施設※ ³ に行ったことのある市民 の割合 【計画P19 課題(4) 関連】	81.7%	62.2%	58.3%	67.1%	66.3%	91.1%	89.2%	90.0%

【注釈※】

※¹.文化芸術活動とは、希望ホールでのコンサート、美術館での鑑賞、文化芸術に関する講演会・ワークショップ、映画鑑賞、伝統芸能等に参加して活動すること。※².文化資源とは、文化施設（希望ホールなど）、文化財（山居倉庫など）、伝統芸能、酒田市出身の芸術家、自然景観、歴史的景観、酒田の食文化（R5変更）※³.文化施設とは、市内4施設（土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館、酒田市民会館）、5施設（総合文化センター）、6施設（公民館）

注) 計画策定期(平成29年度)の数値については、「酒田市芸術文化振興計画(仮称)策定に伴うアンケート」(平成29年7月実施)の結果に基づくものであり、令和元年度以降の数値については、各年度に実施した市民アンケートの結果に基づくもの。

◆R5年度以降のアンケート結果に
について

①配布回収先の偏り

- ・無作為抽出郵送アンケートを止めたR5年度から、文化芸術活動に参加、鑑賞、文化施設に行ったことがある等の指標数値が特に上がっている。

- ・WEBアンケートは、市広報、市公式LINEほか、公共施設内に配置した二次元バーコードを読み込んで答える方法だったため、文化施設や社会教育施設に日々来館、活動している市民が多く回答していることが推測される。

②年齢層の偏り

- ・R6年度の回答で、世代別で50代・60代の回答者数が46.3%を占めている。若年層や高齢者の回答数が少なく、社会包摂を考えるための調査としては不十分と言える。

- ・母集団を年代等の属性別に層に分け、各層から決められた割合で無作為抽出を行う「層化抽出法」等の方法によることで、各世代がアンケート対象に均等または実際の人口構成比に応じて反映される。こうした調査方法と設問設定について再検討する必要がある。

1 芸術家・地域ふれあい事業

広く市民が芸術にふれる機会を創出するため、市内小学校にアーティストを派遣し公演等を実施したほか、地域の文化施設でのミニコンサートを開催しました。

基本的施策

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | <input type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| <input checked="" type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実 | <input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | <input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用 |
| <input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | <input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| <input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | <input type="checkbox"/> ⑰観光との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流 | <input type="checkbox"/> ⑱産業との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | <input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

【令和6年度事業実施アーティスト】

	ヴィタリ・ユシュマノフ(声楽) サンクトペテルブルク生まれ。マリインスキー劇場の若い声楽家のためのアカデミーで学ぶ。ライプツィヒのメンデルスゾーン・バベルト音楽演劇大学を卒業。2013年以來、度々来日し各地で演奏。2015年より日本に拠点を移す。CDは『Parole d'amore』(オクタヴィア)、「ありがとう」を風にのせて～日本名歌曲集～(オクタヴィア)など4枚をリリース。日本トステイ歌曲コンクール2015第1位、第14回東京音楽コンクール第2位、第52回日伊声楽コンコルソ第1位および最優秀歌曲賞受賞。
	小林 真人（作曲・作詞・ピアノ） 山梨市出身。国立音楽大学応用演奏科卒業。作曲家・作詞家・ピアニスト。オリジナルのピアノ作品CDを10枚リリースするほか、プラネタリウム番組の音楽担当、小中学校の校歌作詞作曲、2015年山梨市歌作曲。ポップスの合唱アレンジやピアノ伴奏譜アレンジ、オリジナルピアノソロ楽譜出版、作詞・作曲した合唱曲「明日を信じて」「You Can Fly!」が教育出版発行の中学校音楽の教科書に採用されているなど、作曲、編曲活動は多岐にわたる。山梨県立県民文化ホール アーティスティック・アドバイザー。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。山梨市観光大使。「Piano × α」主宰。パーカッショングループ「フラワービート」ピアニスト。
	菊地 将晃（ダンス） 北海道出身。17歳からストリートダンスを始める。大学進学を機に山形県へ移住。鶴岡市内のダンススタジオなどでインストラクターをする傍ら、アーティストのバックダンサー、振付、養護学校や児童館でダンス講師を務める。2023年、東京2020パラリンピックの開閉会式に出演したダンサー等が所属する全国チーム「DIVERz」(ダイバーズ)に東北唯一のメンバーとして加入。2020年度「輝く！やまがた若者大賞」受賞。2021年度「鶴岡市青少年育成会模範団体賞」受賞。
	中村 修一（狂言） 1989年生まれ 京都府出身。 野村万作に師事。能楽協会会員。98年入門、00年『業平餅』稚児役で初舞台。慶應義塾大学法学部卒業。9歳で入門後、『魚説法』『太鼓負』などに出演。16年『三番叟』『奈須与市語』、20年『釣狐』を披く。松尾塾伝統芸能、庄内能楽館の狂言教室、早稲田大学・共立女子大学・東京女子大学の狂言サークルを指導している。
	酒田三曲協会（邦楽器） 日本の伝統楽器である『箏』、『三絃』、『尺八』の音楽愛好者や団体が流派を超えて集い、地域発展に貢献しようと活動している。演奏技術の鍛錬、市民への邦楽啓蒙を目的とし、毎年の演奏会開催や、小中学生学校指導、施設訪問、演奏技術の鍛錬、芸術祭参加、音楽祭参加などを行っている。

(1) 小学校・特別支援学校アウトリーチ

家庭環境や地域環境等に左右されず、卒業するまでに子どもが芸術にふれる機会を創出することを目的に、クラスコンサートやワークショップを実施しました。

アーティスト(ジャンル)	年月日	学校名	学年	人数	コマ数
菊地 将晃 (ダンス)	令和6年 5月 27日(月)	浜田	5	37人	2コマ
	令和6年 5月 28日(火)	十坂	5	34人	1コマ
	令和6年 5月 29日(水)	新堀	4・5	14人	1コマ
	令和6年 6月 3日(月)	松山	5・6	25人	1コマ
	令和6年 6月 4日(火)	黒森	5・6	14人	1コマ
		特支	知高	32人	1コマ
	令和6年 6月 5日(水)	八幡	5	29人	1コマ
		特支	聴・知中	31人	1コマ
ヴィタリ・ユシュマノフ (声楽)	令和6年 6月 26日(水)	松陵	5	44人	2コマ
	令和6年 6月 27日(木)	若浜	5	61人	2コマ
	令和6年 6月 28日(金)	浜中	5・6	20人	1コマ
		鳥海	5	22人	1コマ
中村 修一 (狂言)	令和6年 9月 18日(水)	松原	5	76人	1コマ
		亀ヶ崎	5	77人	1コマ
	令和6年 9月 19日(木)	泉	5	48人	1コマ
		富士見	5	49人	1コマ
酒田三曲協会 (邦楽器)	令和6年 10月 24日(木)	平田	5	21人	1コマ
小林 真人 (ピアノ・作曲)	令和6年 11月 13日(水)	西荒瀬	5	27人	1コマ
		南平田	3・4・5・6	136人	1コマ
	令和6年 11月 14日(木)	宮野浦	5	48人	2コマ
		特支	知小	33人	1コマ
	令和6年 11月 15日(金)	琢成	5	27人	1コマ
		広野	5	11人	1コマ
計		21校		916人	27コマ

(写真)



(主な感想)

- ・ダンスがちょっと不安だったけど先生が優しくて面白かったです。わかめのダンスやストリートダンスが面白かったです。 (ダンス)
- ・特に魔王の曲がすごかったです。歌の準備体操の振り付けも面白かったです。生でプロの曲を聴く機会がなかったのでこんなに臨場感があるのかと感動しました。 (声楽)
- ・細かい体の動きや、人の心を動かすようなひびく声がすごいと思いました。動画で見ているより迫力があってびっくりしました。 (狂言)
- ・最初は全然上手く鳴らなくてあせったけど、三曲協会の皆さんのがやさしく教えてくれたおかげでうまく鳴らすことができました。 (邦楽器)
- ・ぼくは音楽があまり好きではなかったけど、演奏や歌をきいてみて音楽が少し好きになりました。ピアノの下に行って聞いたりしたことが楽しかったです。 (ピアノ)

(2) 地域コンサート

気軽に芸術鑑賞ができる機会を創出するとともに、地域の文化施設活用を目的として、八幡、平田地区で地域コンサートを行い、普段コンサートに来場する機会のない方へ文化芸術を届ける機会としました。

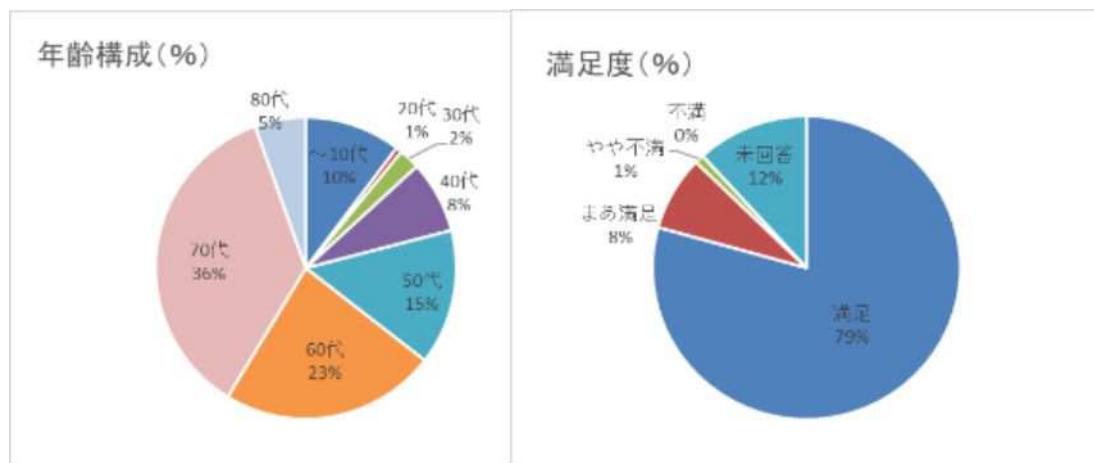
入場料 500円 (25歳以下無料)

開催日 会場	アーティスト	総入場者数		
			一般	25歳以下
令和6年 6月 29日(土) 八幡 交流ホール	ヴィタリ・ユシュマノフ (声楽)	145人	139人	6人
令和6年 11月 16日(土) 平田 シアターOZ	小林 真人 (ピアノ・作曲)	220人	185人	35人
合計		365人	324人	41人

(写真)



(アンケート結果／2回累計)



- ・日本の歌曲をとても上手に歌ってくださるので、今回も楽しみにしていました。ロシアの作曲家から啄木の歌、武満徹、カンツォーネから、美空ひばりまで幅広く聞かせてもらって楽しかったです。 (声楽)
- ・親しみやすい雰囲気でプロの音楽を聴くことができて大満足です。 (声楽)
- ・わが子の学校に来校していただき、子供から「とても楽しかった」と大興奮! ぜひ私も聞きたいと思い親子できました。引き込まれるメロディーにとても心躍り癒されたひと時でした。 (ピアノ)
- ・ピアノコンサートでこんなに楽しかったのは初めてです。来年も楽しみにしています。トークもよかったです。 (ピアノ)

2 人材育成事業

基本的施策

- | | |
|---|---------------------------|
| □①文化芸術活動を行う環境の整備 | □⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| □②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | □⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| □③学校教育における文化芸術活動の充実 | □⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | □⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | □⑮文化施設の活用 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | □⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| □⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | □⑰観光との連携 |
| □⑧文化芸術による国際交流 | □⑱産業との連携 |
| □⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | □⑲組織体制の強化 |
| □⑩文化芸術による社会包摂 | □⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

(1) レセプショニスト養成講座

希望ホール職員や市民を対象として、希望ホールでの公演の際に受付や案内を行う「レセプショニスト」の募集、研修を経て公演対応を行い、地域の芸術活動を支える人材の育成を図りました。修了後は研修内容の補完と定着を狙ってe-ラーニングを実施しました。

20人超の応募に対して面接を経て新規に11人を採用し、レセプショニストの登録者数は16名となっています。(令和7年3月現在)

講師：サントリーパブリシティサービス（株）

実施日	内容
令和6年3月15日(金)～	レセプショニスト募集
令和6年5月18日(土)	採用面接
令和6年6月16日(日)	新人研修（座学・RP）
令和6年6月28日(金)	実技研修（公演対応）
令和6年8月～9月	eラーニング

(2) 学芸員育成研修（中止）

学芸員が不足しており負担が増大することや、本来業務の妨げとなる懸念から、（公財）さかた文化財団との協議の上で実施を見送りました。

(3) ミライニとの連携事業「いろまるワークショップ」

0～3歳児とその保護者を対象にしたアートスタートワークショップを酒田駅前交流拠点施設ミライニと連携して開催しました。

「ものづくり」「いろあそび」「いろえほん」とテーマ設定した各ブースで、視覚、触覚、聴覚を刺激されながら、乳幼児とその保護者が思い思いの時間を楽しみました。

実施日	場所	参加者数
令和7年3月9日（日）	ミライニ 3階研修室	子ども 72人 保護者 96人



(4) 希望ホール幼保インリーチ事業

「わたしたちの『希望ホール』に行ってみよう」（年度途中新規）

クラシック系を中心に「未就学児入場不可」の公演が多い希望ホールに、低年齢時から親しむ機会を設定し、将来文化芸術を楽しむ、または担い手となるきっかけ作りのための取組を実施しました。

市内認可保育所、認定こども園、学童保育所から参加を募り、各園思い思いに希望ホール内の見学や体験を行いました。

実施日	園名	参加人数	内容
令和6年6月6日（木）	若草幼稚園	園児35人 付添6人	園作成の映像鑑賞 会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
令和6年6月7日（金）	こどもの園	園児14人 付添4人	舞台上でのダンス体験 保育士による出し物鑑賞 会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
令和6年6月13日（木）	北新橋保育園	園児15人 付添5人	舞台上でのダンス体験 会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
令和6年6月18日（火）	鳥海保育園	園児10人 付添2人	舞台上でのダンス体験 ピンスポット体験 会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
令和6年6月20日（木）	松陵保育園	園児14人 付添3人	舞台上でのダンス体験 ピンスポット体験

			会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
令和6年8月7日 (水)	新堀保育園 新堀学童クラブ	園児7人 学童13人 付添6人	舞台照明操作体験 会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
令和6年8月8日 (木)	本楯保育園	園児24人 付添4人	舞台上でのダンス体験 ピンスポット体験 舞台照明操作体験 会館作成のコンテンツ鑑賞 館内見学
計 児童132人 付添 30人			

(写真)



3 障がい者アート展（いいいろいろいろいろ展）

障がいのある方々の作品制作に対する支援及び発表の場を提供するとともに、市民に対して多様なアートの魅力を発信する機会を創出するため、障がいのある方が制作した作品の展示会を開催しました。

今年度から新たにミライニでのプレ展示を実施するとともに、年齢性別や障がいの有無によらず来場者の描いた魚が泳ぐプロジェクトマッピング「いいいろいろ水族館」を実施しました。

基本的施策

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| <input type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実 | <input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | <input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | <input type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用 |
| <input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | <input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| <input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | <input type="checkbox"/> ⑰観光との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流 | <input type="checkbox"/> ⑱産業との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | <input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

開催期間	場所	展示作品数	入場者数
令和6年9月13日(金) ～9月17日(火)	ミライニ	22点	892人
令和6年9月20日(金) ～26日(木)	出羽遊心館	152点	717人

出展団体

(ミライニ) 多機能型事業所ふれんず、障がい者支援施設和光園、共同生活事業所仲町ホーム、多機能型事業所くじら、イデアルファーロ株式会社／障がい者サポートセンターあらた、NPO法人みらいず、障がい福祉サービス事業所いっぽ、ほか個人1名

(出羽遊心館) デアルファーロ株式会社／障がい者グループホームあらた、イデアルファーロ株式会社／放課後等デイサービスあらた、共同生活事業所仲町ホーム、共同生活事業所なごみ、共同生活事業所ふきのとう、NPO法人酒田市障がい者福祉会、医療法人酒田東病院デイケアパレット、医療福祉法人山容会山容病院デイケア、NPO法人支援センターふれあい工房、障がい者支援施設光風園、障がい者支援施設和光園、障がい者支援事業所あすなろ、障がい福祉サービス事業所いっぽ、生活介護事業所あんだんてつむぎ、多機能型事業所ohana、多機能型事業所かのと、多機能型事業所くじら、多機能型事業所ふれんず、放課後等デイサービス事業所ならはし、放課後等デイサービスライト、就労継続支援B型事業所まざーずはーと、NPO法人みらいず、山形県立酒田特別支援学校、ほか個人4名

(写真)



(アンケート結果／出羽遊心館展示分)



4 東京藝術大学との連携事業

酒田市と東京藝術大学との連携協定に基づき、同校と連携して地域社会と文化芸術分野をつなぐ市民アートコーディネーターの発掘・育成を目的とした事業を開催しました。

基本的施策

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| <input type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| <input type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実 | <input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | <input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | <input type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用 |
| <input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | <input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| <input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | <input type="checkbox"/> ⑰観光との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流 | <input type="checkbox"/> ⑱産業との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | <input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化 |
| <input type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摶 | <input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

実施日	場所	講座名	講師	参加者数
令和6年12月14日（土）	ミライニ	さんぽ鑑賞	佐藤 悠 氏	14人
令和7年1月18日（土）	ミライニ	カード鑑賞	佐藤 悠 氏	10人
令和7年2月9日（日）	若葉旅館	美術(旅)館鑑賞	佐藤 悠 氏	21人
令和7年2月22日（土）～ 3月16日（日）間の土日祝日	清亀園	編む手／解く手	和氣光凜 氏	133人
令和7年3月15日（土）			田中ジョン直人 氏	
令和7年3月20日（木祝）	港座	酒田散漫さんぽ	佐藤 悠 氏	16人
令和7年3月29日（土）	酒田市街地	酒田散漫さんぽ	佐藤 悠 氏	17人

○さんぽ鑑賞～美術(旅)館鑑賞

藝大出身のアーティスト佐藤悠氏が考案したオリジナルの鑑賞プログラム。大きな絵画の上を実際に歩いてみたり、アーティスト手作りのカードを使ったり、旅館内を散歩しながら作品について語り合いました。目で見るだけではなく、心と体を全部使いながら作品と向き合う、ちょっと不思議なアート鑑賞入門講座となりました。

○編む手／解く手

毛糸を編んだりほどいたりしながら、日常とは異なる方法（＝毛糸）で誰かと出会い、「ここだけの関係」を紡いでいく体験型の催しを実施しました。

○酒田散漫さんぽ

案内人とまちを歩くことをきっかけに、それぞれの「まちのみえ方」を交換する「まち歩き」は、「散漫」という名が示す通り、参加者の意思統一や集約せずに、互いのみえ方を共有することで、新たな価値の交換や発見、まちと人との相互理解、アートを通じた思考や発想を促す取組になりました。



▲さんぽ鑑賞



▲編む手／解く手



▲酒田散漫さんぽ

5 鑑賞事業

基本的施策

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | <input type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| <input type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実 | <input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | <input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用 |
| <input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | <input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| <input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | <input type="checkbox"/> ⑰観光との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流 | <input type="checkbox"/> ⑱産業との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | <input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化 |
| <input type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

(1) 共催公演

文化芸術推進プロジェクト会議が、希望ホールで開催される公演を共催し、主催者の負担軽減や広報協力をすることにより貸館利用を推進するとともに、市民が多彩なジャンルの優れた公演に触れる機会を提供しました。

(網掛けはレセプショニスト対応を行った公演です)

開催日	公演名	総入場者数
令和6年6月28日(金)	わらび座ミュージカル「北斎マンガ」	600人
令和6年7月20日(土)	デビュー55周年記念 希望ホール開館20周年記念 南こうせつコンサートツアー2024～神田川～	1,210人
令和6年7月21日(日)	特撰落語会 林家たい平 独演会	710人
令和6年9月1日(日)	希望ホール開館20周年記念公演 よしもとお笑いライブ IN 酒田	720人
令和6年9月29日(日)	花王ファミリーコンサートin酒田 仲道郁代ピアノ・リサイタル	1,120人
令和6年10月20日(日)	ウルフルズ ライブツアー2024 ツーツーウラウラツー シーズン1	1,194人
令和6年11月15日(金)	Novelbright LIVE TOUR 2024 ~CIRCUS~	1,200人
令和7年1月13日(祝)	仮面ライダースーパーライブ 2025 酒田公演	1,414人
令和7年3月22日(土)	恐竜ラボ！キング・オブ・ハンターズ From DINO-A-LIVE 酒田公演	1,935人
		計 10,103人

(2) 商店街との連携（露店の出店）「きぼうグルメテラス」

希望ホール公演時の賑わいの創出や来場者の満足度向上を目指して、商店街等と連携して露店の出店を試験的に行いました。

公演そのものの集客や日時、気象条件等により露店の賑わいは左右されまし

たが、取組について出店者からは概ね好評を得て、今後の出店についても前向きな声をいただきました。

実施日	公演名	参加店舗数
令和6年9月1日(日)	希望ホール開館20周年記念公演 よしもとお笑いライブ IN 酒田	5店舗
令和6年11月15日(金)	Novelbright LIVE TOUR 2024 ~CIRCUS~	6店舗
令和7年3月22日(土)	恐竜ラボ！キング・オブ・ハンターズ From DINO-A-LIVE 酒田公演	5店舗

(写真)



6 アートプロジェクト活動支援補助金（審査）

市民の自由な発想と意思に基づいた文化芸術活動を支援することでより一層の文化芸術推進計画の推進を図るため、市が実施する「アートプロジェクト活動支援補助金」の交付決定審査を行いました。申請者6者のうち、審査による得点上位者3者に対し補助金の交付決定を行いました。

採択者	申請額	当初交付決定額	事業完了日	確定額
書道教育センター	303,000円	303,000円	4月10日	167,000円※
SAKATART 実行委員会	254,000円	254,000円	3月31日	254,000円
鳥海高原アートキャンプ 実行委員会	500,000円	443,000円	3月13日	443,000円

※感染症の流行等により当初予定事業の縮小・延期等の理由により決算額が交付決定額を下回ったもの

令和7年度 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議 関連事業概要 予算額:26,041千円

重点テーマ

背景と ねらい

子ども・若者世代への訴求による、酒田における文化芸術の裾野の拡大（継続）

酒田市文化芸術推進審議会から示された令和7年度に向けた答申で、多くの子どもたちに多様な文化芸術に親しむ機会の提供に努めている点が評価され、それら取組みを「一層強化」することを期待された。これを踏まえ令和6年度の重点テーマを継続し、更なる充実を図る。



「強化」の切り口
 ①新たな機会(きっかけ)の創出
 ②他分野・他団体等との連携
 ③事業間の有機的連携

❖主な事業（赤字はワークショップでいただいたご意見を反映しているキーワードです）

【新規】強化の切り口①②

1 高校演劇部／ジェンダー分野との連携事業

- 庄内地域の高校演劇部を対象に、**プロの演出家による指導を受ける研修の機会**を作ります。
- 公演当日は市共生社会課と連携し、講師によるジェンダーをテーマにした講演会の開催および男女研修の成果として、希望ホール大ホールでジェンダーをテーマにした合同演劇公演を開催します共同参画に関するパネル展示などを行います。
- 双方分野のコミュニティによる多様な価値観が出会う場となることを目指します。

【新規】強化の切り口②③

2 若竹ミュージカル

- 東京学芸大学特別支援学校OBを中心とした**若竹ミュージカル**を6年ぶりに希望ホールで開催します。
- 障がいのある方々による舞台公演の魅力や可能性を広く知っていただく機会とします。また酒田特別支援学校の卒業生との連携も視野に入れています。
- 公演当日は**ホワイエで障がい者アート展の出張展示**を実施します。

【新規】強化の切り口①

3 乳幼児向け親子コンサート

- ピアニストで作曲家の小林真人氏による、**乳幼児およびその保護者向けのコンサート**を開催します。
- 一般的なピアノ公演では入場が出来ない乳幼児とその保護者が、**他の観客に気兼ねすることなく**自由に動き回ったり寝そべったりなどしながら本格的な音楽に触れるこことできるコンサートを目指します。

【新規】強化の切り口①②

4 楽器体験事業（仮）

- **音楽や楽器に興味のある子ども**（小中学生）を対象に、**気軽に楽器に触れることができる体験事業**を開催します。
- 市内高校吹奏楽部等から楽器を借用し**高校生**に楽器の使い方などのレクチャー役を要請します。
- 鑑賞型が中心となる小学校アウトリーチ（下記）に対し体験型の事業を実施することで、子どもたちに音楽や楽器をより身近に感じてもらうことができる場を作り、文化芸術活動参加のきっかけとします。

【拡充】強化の切り口①

5 小学校アウトリーチ

- 学校からの要望が多かった弦楽器（チェロ）と、**初めての美術系ジャンルとなる書道**を新たにメニューに加えます。
- チェロ奏者の奥田なな子さんは祖母が酒田出身、書道の阿部千紗子さんは酒田市在住、また昨年に引き続き酒田市芸術文化協会加盟の庄内能楽館の協力を得て狂言師を招聘するなど、**地元に所縁のあるアーティスト・団体**を中心に市内全小学校を訪問し、子どもたちが**本物に触れる機会**を設定します。

【拡充】強化の切り口①②

6 アートプロジェクト 活動支援補助金

【拡充】強化の切り口②③

7 東京藝大との連携 事業

【拡充】強化の切り口②③

8 障がい者アート展

【継続】

9 ミライニとの連携 事業

【継続】

10 地域コンサート

【継続】

11 希望ホール 幼保インリーチ

【継続】

12 地元事業者との 連携

- 補助対象者の決定にあたっては申請者がプレゼンテーションを行い、プロジェクト会議構成員による審査を実施することとします。
- 審査基準がわかりにくく審査員により評価にバラつきが出た前回を踏まえ、新たにわかりやすい審査基準を設定します。（別紙案）

- 東京藝術大学を通じて派遣されたアーティストが一定期間酒田に滞在し、アート活動を行うアーティスト・イン・レジデンス事業を実施します。
- 既存のイベントや市内施設を活用するほか、作品の製作過程を市民に公開しながら相互に関わっていくことができる取組を目指しています。

- 引き続き出展作品のミライニでの展示を実施します。
- 若竹ミュージカル開催の際に、希望ホールホワイエでの展示を実施します。（再掲）
- 酒田出身のアーティスト・佐藤真生さんよりご助言をいただきながら企画内容を検討するとともに、アート展の将来像を描いていきます。

- ミライニが開催する予定の幼児とその親子向けワークショップについて、連携を継続します。
- 障がい者アート展のミライニ開催についても引き続き実施します。（再掲）
- その他の取組についても情報共有しながら連携できる事業を模索していきます。

- 小学校へのアウトリーチで招聘するアーティスト（チェロ／ピアノ）について平田・八幡地域でのコンサートを開催します。
- ワンコイン（500円）・未就学児入場可とし、普段は希望ホールなどでのコンサートに来場する機会のない方へ文化芸術を届ける場とします。

- 昨年新規に実施し好評を得た幼稚園・保育園を対象とした希望ホールへのインリーチ事業を継続します。
- 一般的なコンサート等では入場不可になることが多い未就学児に向け、会館内の見学会や大ホール（舞台）での体験などのコンテンツを実施し、周囲を気にせず自分たちだけが希望ホールを満喫できる機会を作り、会館への親しみを涵養するきっかけ作りをします。

- 希望ホールへの来場者の満足度を高めるため、多くの集客が見込まれる公演の際に、希望ホール前広場等に近隣店舗や商店街による露店やキッチンカーを誘致します。
- 当日の出店に関する告知方法を検討し、公演への来場者以外の誘客にも努めます。

令和7年度酒田市文化芸術推進プロジェクト会議事業計画

1 芸術家・地域ふれあい事業

広く市民が芸術にふれる機会を創出するため、市内すべての小学校にアーティストを派遣し公演を実施するとともに、地域の文化施設でのコンサートなどを実施します。

基本的施策

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備
<input checked="" type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
<input checked="" type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実
<input type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成
<input type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
<input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開
<input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
<input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流
<input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
<input checked="" type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
<input type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
<input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用
<input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
<input checked="" type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用
<input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
<input type="checkbox"/> ⑰観光との連携
<input type="checkbox"/> ⑱産業との連携
<input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化
<input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |
|---|--|

【芸術家・地域ふれあい事業 実施アーティスト】

	小林 真人（作曲・作詞・ピアノ） 山梨市出身。国立音楽大学応用演奏科卒業。作曲家・作詞家・ピアニスト。これまでにオリジナルのピアノ作品CDを10枚リリースするほか、プラネタリウム番組の音楽担当、小中学校の校歌作詞作曲、2015年山梨市歌作曲。ポップスの合唱アレンジやピアノ伴奏譜アレンジ、オリジナルピアノソロ楽譜出版、作詞・作曲した合唱曲「明日を信じて」「You Can Fly!」が教育出版発行の小中学校音楽の教科書に採用されているなど、作曲、編曲活動は多岐にわたる。美しいピアノの音色、ダイナミックな演奏とほのぼのトークで作曲・編曲・即興演奏といった専門的なことから音楽の基本・楽しさをわかりやすく紹介する芸術鑑賞会やアウトリーチは年間100回以上の公演が全国各地で行われ、さまざまな新聞、テレビ・ラジオ等で度々取り上げられている。山梨県立県民文化ホール アーティスティック・アドバイザー。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。山梨市観光大使。「Piano × α」主宰。パーカッショングループ「フラワービート」ピアニスト。
	菊地 将晃（ダンス） 北海道出身。17歳からストリートダンスを始める。大学進学を機に山形県へ移住。鶴岡市内のダンススタジオなどでインストラクターをする傍ら、アーティストのバックダンサー、振付、養護学校や児童館でダンス講師を務める。 2014年“ダンスでつながっている最高の家族”という意味をチーム名に込め、インクルーシブダンスマリ「Kickin' Dance Fam」(キッキンダンスマ)を結成。鶴岡市を中心とし、県内外でのイベントでダンスパフォーマンスを行っている。2023年、東京2020パラリンピックの開閉会式に出演したダンサー等が所属する全国チーム「DIVERz」(ダイバーズ)に東北唯一のメンバーとして加入。ダンスワークショップや東京・大阪などでパフォーマンスを行っている。2021年「Dance! Dance! TACT!」オリジナルダンス公演「テクテクタクト」(振付・演出／中村蓉)出演。2022年「山形ビエンナーレ」まちのおくゆきダンスプログラム「さわる／ふれる～ここにいない人と踊るためのエチュード～」(構成・演出／砂連尾理)出演&アシスタント。2023年「やまがた秋の芸術祭」ダンス企画「まあるいにふれる」(構成・演出／加藤由美、砂連尾理)出演&アシスタント。 2020年度「輝く！やまがた若者大賞」受賞。2021年度「鶴岡市青少年育成会模範団体賞」受賞。

	<p>中村 修一（狂言）※調整中 1989年生まれ 京都府出身。 野村万作に師事。能楽協会会員。98年入門、00年『業平餅』稚児役で初舞台。慶應義塾大学法学部卒業。 9歳で入門後、『魚説法』『太鼓負』などに出演。16年『三番叟』『奈須与市語』、20年『釣狐』を披く。 松尾塾伝統芸能、庄内能楽館の狂言教室を指導。 早稲田大学・共立女子大学・東京女子大学の狂言サークルを指導している。</p>
	<p>點 Ten（書道） 本名阿部千紗子 山形県鶴岡市（旧温海町）生まれ 大学を卒業後酒田市内の高校で約15年 芸術科書道教員として働く。 2022年4月よりアーティスト活動を始める。敷居が高いと思われがちな書道を身近に体感してもらうべく、命名書、看板、書デザイン等、依頼者の思いの込もった作品制作や、幼児から大人まで楽しめる、手本が1つしかない書写習字とは違う書道教室・書道ワークショップ・コラボワークショップを開催。點は点の旧字体で、たったひとつのてんから全ては始まるという想いで artist 名とした。</p>

(1) アウトリーチ

家庭環境や地域環境に左右されずに、小学校を卒業するまでに芸術にふれる機会を創出することを目的に、市内小学校全校(21校)を対象にして普段の授業で児童が使用する音楽室や体育館を会場で公演・ワークショップを実施します。

前年好評を得たダンスや狂言に加え、新たに書道を加えた多彩なメニューを揃え、地元在住の個人や団体、本市に所縁のあるアーティストを招聘します。

開催日(予定)	アーティスト
令和7年5月26日(月) ～5月28日(水)	菊地 将晃(ダンス)
令和7年6月18日(水) ～6月20日(金)	奥田 なな子(チエロ)
令和7年9月10日(水) ～9月11日(木)	庄内能楽館(狂言)
令和7年10月8日(水)	點(書道)
令和7年10月15日(水) ～10月17日(金)	小林 真人(ピアノ・作曲)

(2) 地域コンサート

気軽に芸術鑑賞ができる機会を創出するとともに、地域の文化施設の活発化を目的として、八幡、平田地区で地域コンサートを行います。未就学児入場可とし、普段コンサートに来場する機会のない方へ文化芸術を届ける機会とします。

入場料500円（25歳以下無料）

開催日(予定)	アーティスト
令和7年6月21日(土)八幡	奥田 なな子(チエロ)
令和7年10月18日(土)平田	小林 真人(ピアノ・作曲)

(3) 乳幼児向けコンサート

普段希望ホールの公演に来ることが難しい0歳児～の乳幼児とその保護者をターゲットとしたミニコンサートを開催します。座席なしで赤ちゃんなど小さいお子さんが自由に動き回ったり寝転んだりしながら音楽に触れることができるような催しを企画する予定です。

開催日(予定)	アーティスト
令和7年10月19日(日)	小林 真人(ピアノ・作曲)

2 人材育成事業

基本的施策

- | | |
|---|---------------------------|
| □①文化芸術活動を行う環境の整備 | □⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| □②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | □⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| □③学校教育における文化芸術活動の充実 | □⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | □⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | □⑮文化施設の活用 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | □⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| □⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | □⑰観光との連携 |
| □⑧文化芸術による国際交流 | □⑱産業との連携 |
| □⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | □⑲組織体制の強化 |
| □⑩文化芸術による社会包摂 | □⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

(1) レセプショニスト養成講座

登録者を対象として、酒田市民会館（希望ホール）での公演の際に受付や案内を行う「レセプショニスト」の育成を図ります。希望ホール事業に市民が関わることで地域の芸術活動を支える人材を育成し、まちの文化的成熟度の向上に繋げることを目的にしています。

講師（予定）：サントリーパブリシティサービス（株）

実施日	内容
令和7年4月26日(土) ～27日(日)	新人研修（オーダーメイド）
上記実施後	eラーニング

(2) 庄内地区高校演劇部×男女共同参画分野との連携事業【新規】

庄内地区演劇協議会（酒田東高、酒田西高、鶴岡中央高）と連携し、プロの講師を招いた高校演劇部向けの研修を行うことで、地域の若者の文化芸術活動を支援します。また最終日には研修成果としてジェンダー（性的マイノリティ）をテーマにした演劇公演を開催します。

また市共生社会課と連携し、演劇公演に合わせてジェンダーのテーマに即した講演会およびパネル展等の企画を実施します。若者の文化芸術活動を社会課題と結びつけるとともに、演劇と男女共同参画双方のコミュニティの価値観が出会う場を創出します。

日程	内容
令和8年1月10日（土）～11日（日）	高校生演劇研修
令和8年1月12日（祝）	演劇公演+講演会（+企画展）

演劇研修講師

館そらみ氏



講演会講師

未定

（調整中）

（3）ミライニ（酒田駅前交流拠点施設）との連携

ミライニが主催する未就学児向けワークショップについて、アートスタートの観点から協働して実施します。小さいお子さんやその保護者の方に文化芸術に触れる機会を創出するため、主に企画・広報の面で連携します。

（4）希望ホール幼保インリーチ事業

前年度好評だった、幼稚園児・保育園児を対象にした希望ホールの見学・体験会を実施します。クラシック音楽をはじめ未就学児入場不可という公演が多い中、幼少期から希望ホールに親しむ機会を設けることで、将来の文化芸術の担い手や鑑賞者の育成のきっかけとすることが目的です。

3 いいいろいろ（障がい者アート展）

障がいのある方々の作品制作に対する支援及び発表の場を提供するとともに、市民に対して多様なアートの魅力を発信する機会を創出するため、障がいのある方が制作した作品の展示会を開催します。前年好評だったミライニ（酒田駅前交流拠点施設）での展示についても継続します。また後記の「若竹ミュージカル」開催に合わせ、希望ホールホワイエでの展示についても検討します。

基本的施策

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| <input type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実 | <input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| <input type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成 | <input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| <input type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | <input type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用 |
| <input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開 | <input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| <input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | <input type="checkbox"/> ⑰観光との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流 | <input type="checkbox"/> ⑱産業との連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | <input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

開催期間（予定）	場所
令和7年9月中旬	ミライニ
令和7年9月下旬	出羽遊心館
令和7年11月2日	希望ホール（検討中）

4 東京藝術大学との連携事業

酒田市と東京藝術大学との連携協定に基づき、同校と連携して「市民アートコーディネーターの育成」をテーマに事業を検討し実施します。2年目となる令和7年度は、参加者がアーティストの創作活動や企画への理解をより深められるよう、サポートやボランティア参加者の枠を超えた関わりを経験できる機会を設けます。

具体的なアーティストや手法については、東京藝術大学と調整中です

基本的施策

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備
<input type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
<input type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実
<input checked="" type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
<input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開
<input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
<input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流
<input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
<input type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
<input checked="" type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
<input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用
<input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
<input type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用
<input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
<input type="checkbox"/> ⑰観光との連携
<input type="checkbox"/> ⑱産業との連携
<input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化
<input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |
|--|--|

5 鑑賞事業（共催事業）

基本的施策

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ①文化芸術活動を行う環境の整備
<input checked="" type="checkbox"/> ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
<input type="checkbox"/> ③学校教育における文化芸術活動の充実
<input type="checkbox"/> ④将来の文化芸術の担い手の育成
<input type="checkbox"/> ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
<input type="checkbox"/> ⑥市民との協働・共創による事業展開
<input type="checkbox"/> ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
<input type="checkbox"/> ⑧文化芸術による国際交流
<input type="checkbox"/> ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
<input type="checkbox"/> ⑩文化芸術による社会包摂 | <input type="checkbox"/> ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
<input type="checkbox"/> ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
<input type="checkbox"/> ⑬文化財等の地域資源の活用
<input type="checkbox"/> ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
<input checked="" type="checkbox"/> ⑮文化施設の活用
<input type="checkbox"/> ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
<input type="checkbox"/> ⑰観光との連携
<input type="checkbox"/> ⑱産業との連携
<input type="checkbox"/> ⑲組織体制の強化
<input type="checkbox"/> ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |
|---|--|

（1）共催公演

文化芸術推進プロジェクト会議が希望ホールで開催されるイベントを共催することで、主催者の負担軽減や広報協力をすることにより公演利用を推進し、市民に多彩なジャンル公演に触れる機会を提供します。

POPSコンサートなど若い世代に人気の音楽グループや、子どもを含めたファミリー層が楽しめる事業などにより、多くの市民にとって親しみやすいホールになることを目指します

希望ホールへの来場者の満足度を高めるため、多くの集客が見込まれる公演の際に、希望ホール前広場等に出店（でみせ）やキッチンカーを誘致します。

開催日	アーティスト(主催者)
令和7年4月5日(土)	岡本知高(TUY)
令和7年5月10日(土)	My Hair is Bad(ノースロードミュージック)
令和7年7月13日(日)	大黒摩季(ノースロードミュージック)
令和7年7月21日(祝)	東京スカパラダイスオーケストラ(キョードー東北)
令和7年9月27日(土)	情報解禁前(オフセンター)
令和7年9月28日(日)	花王アミリーコンサートin酒田(花王)
令和7年11月13日(木)	情報解禁前(クールマイン)
令和8年3月14日(土)	山形交響楽団庄内定期公演(山響)

※その他調整中の案件あり

(2) 若竹ミュージカル【新規】

東京学芸大学付属特別支援学校の卒業生とその関係者による、令和元年以来の特別公演を開催します。出演者の練習や公演運営をサポートするとともに、障がい者による舞台の魅力を広く周知していきます。

開催日	演目(予定)
令和7年11月2日(日)	サウンド・オブ・ミュージック

6 アートプロジェクト活動支援補助金（審査）

市民の自由な発想と意思に基づいた文化芸術活動を支援することでより一層の文化芸術推進計画の推進を図るため、市が実施する「アートプロジェクト活動支援補助金」の交付決定審査を行います。

運用2年度目となる令和7年度は、文化芸術推進プロジェクト会議会員の前でのプレゼンテーション審査を実施する予定です。

資料5

酒田市文化芸術推進審議会サイクル（スケジュール）

回開催	1期 7年目	8年目	9年目	10年目	第2期 1年目 ▶
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	委員任期 R6.10.1～R8.9.30				
第1回 (6ヶ月)	①R6予算(確定) 予算額 & 事業内容 ②R5決算(確定) 決算額 & 事業結果 ★事業カード R6諮問 R7事業に向けて	①R7予算(確定) 予算額 & 事業内容 ②R6決算(確定) 決算額 & 事業結果 ★事業カード R7諮問 R8事業に向けて	①R8予算(確定) 予算額 & 事業内容 ②R7決算(確定) 決算額 & 事業結果 ★事業カード R8諮問 R9事業に向けて	①R9予算(確定) 予算額 & 事業内容 ②R8決算(確定) 決算額 & 事業結果 ★事業カード R9諮問・計画諮問 R10事業に向けて	①R10予算(確定) 予算額 & 事業内容 ②R9決算(確定) 決算額 & 事業結果 ★事業カード R10諮問 R11事業に向けて
8月	R6答申案協議 (書面協議)	R7答申案協議 (書面協議)	R8答申案協議 (書面協議) ※	R9答申案協議 第2期計画案協議	R10答申案協議 (書面協議)
9月	R6答申(会長)	R7答申(会長)	R8答申(会長) ※	R9答申 第2期計画答申(会長)	R10答申(会長)
第2回 (3ヶ月)	委嘱状交付 ①R6事業(途中経過) ②R7予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状 (R6)	①R7事業(途中経過) ②R8予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状 (R7)	委嘱状交付 ①R8事業(途中経過) ②R9予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状 (R8) 第2期計画案協議 計画の未達事項の解消・施策仕上げ	①R9事業(途中経過) ②R10予算要求(未確定) ★事業カード H29～R9 評価指数の総括 新計画	委嘱状交付 ①R10事業(途中経過) ②R11予算要求(未確定) ★事業カード 評価指数の現状 (R10)

※R8答申案は予算要求前まで指針として必要であるため、前提として9月末までに決定する。計画の未達事項の解消に向けた協議について、審議会で必要と判断した場合は、8～9月のいずれかで答申案について審議会を開催することも可能。

酒田市文化芸術推進計画推進にあたり「社会包摂と育成」の視点での評価・事業検討

❖ 政策全般に係る内容

1 社会包摂（ソーシャルインクルージョン）とは？

「社会包摂（ソーシャルインクルージョン）」と、それを支える「育成」は、現代社会が直面する多様な課題を乗り越え、持続可能な未来を築くための鍵となる理念。

「社会包摂」とは、年齢、性別、国籍、障害の有無、経済状況などにかかわらず、誰もが社会の構成員として尊重され、孤立や排除されることなく、共に支え合いながら生きていける社会を目指す考え方。

これは、特定の困難を抱えた人々を一方的に「支援する」という考え方だけに止まらず、一人ひとりが持つ個性や、能力を発揮できる「居場所」や「役割」があり、地域社会や経済活動に主体的に参加できる状態を理想とするもの。

これは、SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とも深く通じるもの。

2 「育成」の役割

ここでいう「育成」とは、単に子どもを育てるだけを指すだけでなく、社会のあらゆる人々が、その人らしく自立した生活を送るために必要な知識、スキル、そして自信を育むための、あらゆる支援や機会を意味する。

(1) 教育・学習支援

学齢期の子どもだけでなく、社会人や高齢者に対する学び直しの機会（リカレント教育）や、障害のある方のための専門的な職業訓練も含まれる。

(2) 伴走型のサポート

不安や困難を抱える人に寄り添い、対話を通じて自信を回復させ、社会とのつながりを再構築する手助けをする。

(3) 能力開発

個々人の強みや関心を見つけ出し、それを伸ばしていくことで、社会参加への意欲と道筋を育む。

(4) 人材育成

地域でのアート活用に関するコーディネート力を備えた人材や専門人材等、文化芸術活動を支える人材を育てる。

3 「社会包摂」と「育成」の関係

(1) 「育成」は「包摂」を実現するための「手段」

「社会的包摂」と「育成」は、互いに不可分な「車の両輪」のような関係にあり、適切な

教育や訓練といった「育成」の機会がなければ、人は社会に参加するためのスキルを得ることができない。例えば、障害のある方が就労を目指す際の職業訓練や、引きこもりの若者が社会との接点を取り戻すためのコミュニケーション支援等は、彼らが社会に包摂されるための具体的な道筋となる。

(2) 「包摂」は、育成を可能にする「土壤」

差別や偏見がなく、誰もが尊重され、受け入れられる環境、すなわち「包摂」されている環境があることで、人は新しいことに挑戦し、自らの能力を伸ばそうという意欲を持つことができる。

つまり、「育成」を通じて個人の力を高めることと、「包摂」を通じて誰もが安心できる社会を築くことは、同時に進めていくべき課題といえる。

4 国内における主な取り組み分野と事例

対象分野	主な取り組み事例
① 障害のある方	障害者差別解消法の施行、就労移行支援事業所による職業訓練と就職サポート、公共施設のバリアフリー化
② 高齢者	生涯学習センターでの講座、地域における趣味やスポーツのサークル活動、シルバー人材センターによる就労機会の提供
③ 子ども・若者	経済的に困難な家庭の子どもを支援する「子ども食堂」や無料学習塾、ひきこもり状態の人を支援する「地域若者サポートステーション」
④ 外国人住民	自治体による日本語教室の開催、多言語での生活相談窓口の設置、地域住民との文化交流イベント
⑤ 生活困窮者	自立相談支援機関による家計相談、住居確保給付金の支給、就労準備支援

※注) 上記の取り組みは、国や自治体だけでなく、NPO、企業、そして地域住民一人ひとりの協力によって支えられている。

❖ 文化・芸術政策に係る内容

5 もう一つの「包摂」と「育成」の形（文化・芸術政策的アプローチ）

福祉や雇用の文脈で語られることの多い「社会包摂と育成」だが、文化・芸術政策を通じたアプローチもまた、非常に有効な手段である。

文化政策とは、文化・芸術の振興そのものに加え、文化の力を通じてより良い社会を築いていこうとする公的な取り組みを指し、文化・芸術活動は、人々に次のような価値をもたらす。

酒田市文化芸術推進計画推進にあたり「社会包摂と育成」の視点での評価・事業検討

(1) 自己表現とコミュニケーションの促進

言葉によるコミュニケーションやスポーツが苦手な人でも、音楽、演劇、美術などの活動を通じて自己を表現し、他者と心を通わせることができる。このことで自己肯定感の回復や、社会参加への意欲を生む第一歩につながる。

① 多様性の理解と共感の醸成

普段接することのない人々の視点で描かれた絵画や演劇に触れたり、異なる背景を持つ人々と共に作品を創造したり、体験したりする経験は、偏見を乗り越え、相互理解を深めるきっかけとなり得る。

② 新たな「居場所」と「つながり」の創出

美術館や市民会館、コミュニティセンター等が主催するワークショップや、地域の祭りへの参加は、世代や立場を超えた人々が出会う「ゆるやかな居場所」となり、新たなコミュニティや繋がりを育む。

③ 創造性やスキルの育成

文化芸術活動への参加は、子どもたちの創造性や協調性を育むだけでなく、高齢者にとっては生きがいとなり、認知機能の維持にもつながると言われている。

アプローチの方向性	具体的な取り組み事例
ア) 参加と創造の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> 地域のホールや公民館が、障害のあるなしに関わらず参加できる演劇ワークショップやオーケストラを主催。 アートN P Oが、引きこもり経験のある若者たちとアートプロジェクトを実施。
イ) 鑑賞機会の保障	<ul style="list-style-type: none"> 美術館や博物館が、手話通訳付きの鑑賞ツアーや、視覚障害者のための「触れる鑑賞」プログラムの実施。 経済的な理由で文化施設にアクセスしにくい子どもたちを無料招待。
ウ) 地域の魅力と活力の創出	<ul style="list-style-type: none"> 過疎化の進む地域で、住民とアーティストが協働してアートイベントを開催し、地域の魅力の再発見や郷土愛の醸成、人材発掘を図る取り組み。(アーティスト・イン・レジデンス等)
エ) 福祉施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> アーティストが介護施設や病院を訪問し、入所者と共に音楽や創作活動を行う「アウトリーチ活動」。

6 令和8年度に向けた実施事業検討例

令和6年度、7年度事業の実施状況を踏まえ、8年度以降の事業実施として検討すべき事項は以下のとおり。内容に応じて府内協議を要する。

(1) 既存の文化芸術施策や関連事業の実施状況と課題抽出

事業カードでの事業実施確認だけでなく、市地域福祉課等、関係他課が事務局として開催している共生社会実現に向けた府内会議を活かし、各部門が実施する社会包摂に係る事業内容の共有、協働、調整等を行う。

(2) 多様な参加機会の創出

- ① 子ども・高齢者・障がいのある人・外国ルーツの市民など、多様な層への文化芸術体験機会の拡充策
 - ・地域食堂、学童保育所等へのアーティスト派遣
(移動型・巡回型イベントやオンライン体験プログラムの開発等)
 - ・学校教育課が行う「不登校支援メタバース活用事業」連携について研究
- ② 学校や福祉施設、地域コミュニティと連携したワークショップ・鑑賞体験の推進

(3) 経済的・物理的バリアの低減

- ① 事業への参加費の助成、観覧チケットの無料配布・割引設定等
- ② 会場のバリアフリー化や遠隔地へのアクセス向上
- ③ 情報発信の多言語化・やさしい日本語化による情報格差の是正

(4) 人材育成と地域リーダーの支援

- ① 地域の文化芸術活動を担う人材(アーティスト、ファシリテーター、ボランティア等)の育成・支援策
- ② 学校や地域団体との協働による持続的な仕組みづくり

(5) 評価・検証と将来展望

- ① 施策の効果測定方法(参加者数、満足度調査、継続率等)の検討
- ② 年齢層、地域、経済的背景等による文化芸術体験の差異(体験格差)がどれくらい生じているか
⇒ 評価指標から読み取れない部分が多い。現状把握が必要。
- ③ 行政・民間・市民の連携強化に向けた仕組みづくり
- ④ 本市の地域特性や環境、文化政策の現状を踏まえ、将来的に望ましい姿、目指すべき姿がどういうものかを審議会で共有する。